

1 研究主題

「集団や社会とよりよい関係を作り、道徳的実践力のある生徒の育成」
～家庭・地域・小中の連携を通して～

2 主題設定の理由

今年度、文部科学省から「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」の委託を受け、これまで取り組んできた小学校や地域との連携をさらに進め、生徒の実態や課題に応じた特色を生かした道徳教育の実践研究を行うこととなった。

また、平成31年度には、中学校で特別の教科道徳として教科化される。中学校道徳科の目指すところは、小学校段階で培った内面的資質である道徳性を授業の中で自分で考え、話し合い、議論し、自分を振り返ることから自分を見つめ、自己を確立することを目指し、他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことである。

本校は、地域の豊かな自然や歴史、文化の継承を大切にし、教育目標を「自立の精神に満ちた豊かな人間力の育成」とし、「確かな学びの充実」、「豊かな人間性と社会性の育成」、「生徒自らの活動の推進」を実践し目標達成に努めている。地域との様々なかかわりや教育力にも支えられながら、生徒たちは明るく素直で、けじめのある学校生活を送っており、部活動への取組も熱心である。1校の小学校からのみ進学してくるので、異学年とのつながりも深い。また、落ち着いた学習環境と充実した学校行事の中で、様々な体験活動を仲間と協力して取り組み、感動する心などの道徳的な心情は育ちつつある。しかし、生徒の振り返りの言葉をみると、相手の気持ちや物事の善悪をつけて記述はできるが、生活の中で見ると行動に素直に表すことができない生徒も多い。

これらの点も踏まえて、これまで本校は、言語活動を充実させるために話し合い活動を取り入れた授業の実践や多様な集団・組織の中で豊かな人間関係を築くことのできる生徒の育成をめざし研究に取り組んできた。今までの取り組みの中で効果的だったことは継続して続けている。

今回の指定を受け、生徒の実態を考慮した上で、道徳の授業を学校の教育活動全体に位置づけ、道徳の授業を通して生徒の道徳性を育み、自己を内省しつつ物事の本質を考える力、主体的な態度、豊かな心を育てたいと考えた。また、授業で獲得した道徳的諸価値観を体験活動で生かしたり、家庭や地域での活動に生かしたりすることで実感を伴い、社会生活の中でも生きていく道徳的実践力につながると考えている。

3 研究の目標

道徳の授業と体験活動や小学校・家庭・地域との連携を図り、社会の中で生きる道徳的実践力をつけるための手立てを探る。

4 研究の仮説

道徳の授業で身につけた道徳的諸価値を生徒自らが、体験活動の中で課題解決に向けて自主的に活動し、活動後の自己を内省することで、社会の中で豊かな人間関係を築き、行動しようとする意識が高まるであろう。

5 研究内容

(1) 授業づくり部会

- ① 研究授業の計画・実践、授業研究会の実施
- ② 指導案・ワークシートなどの研究・検討
- ③ 教材の収集・整理
- ④ 指導方法の工夫、改善

(2) 体験活動部会

- ① 年間を見通して各学年の体験活動を探る
- ② 体験活動の位置づけ、方向性を探る
- ③ ボランティア活動や総合的な学習の時間、学校行事など生徒の活動のあり方

(3) 地域連携部会

- ① 朝の会や帰りの会の小中連携
- ② アンケートなどの分析・考察
- ③ 道徳コーナー、学級内の掲示物の工夫
- ④ 通信などによる地域・家庭との連携

6 研究の方法

(1) 授業研究会による成果の検証

- ① 全職員で道徳の授業に取り組む。
- ② 学期に1回（各学年1回）の研究授業、全員参観で授業研究会を行う。
- ③ 小学校からも参観に来ていただく。

(2) 講師招聘および研究発表会への参加

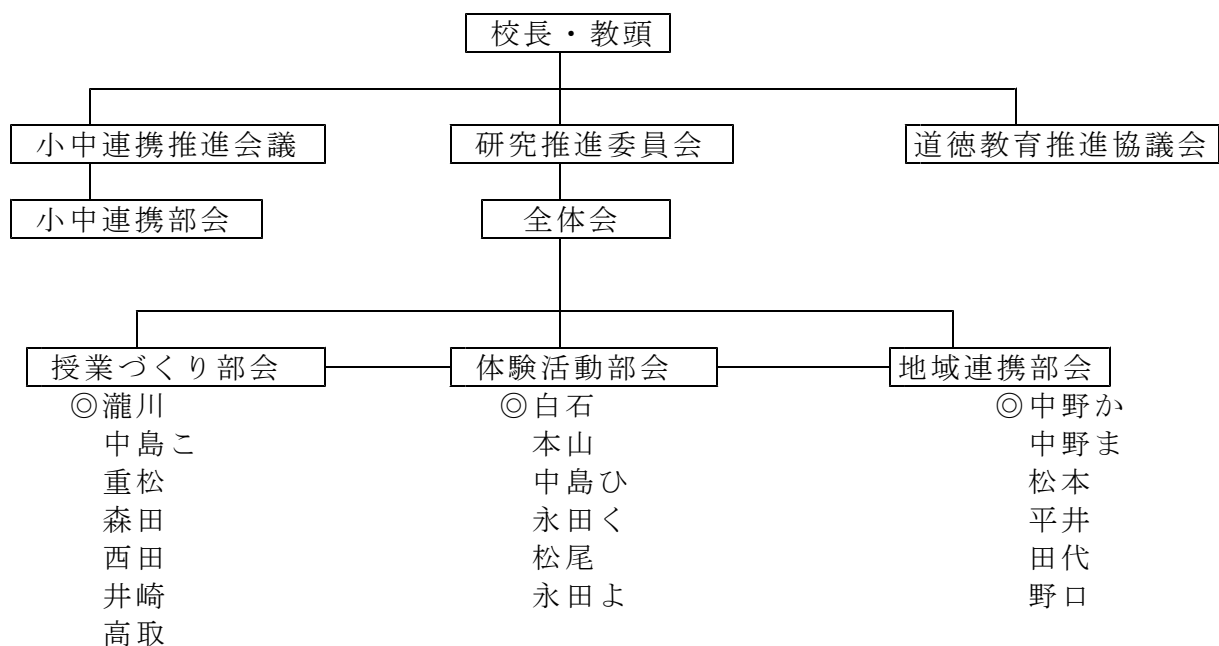
(3) アンケートの実施

- ① QUの実施、分析、活用
- ② 道徳の授業に関する生徒の意識調査（1学期）、振り返り（3学期）変容の分析など

7 検証方法

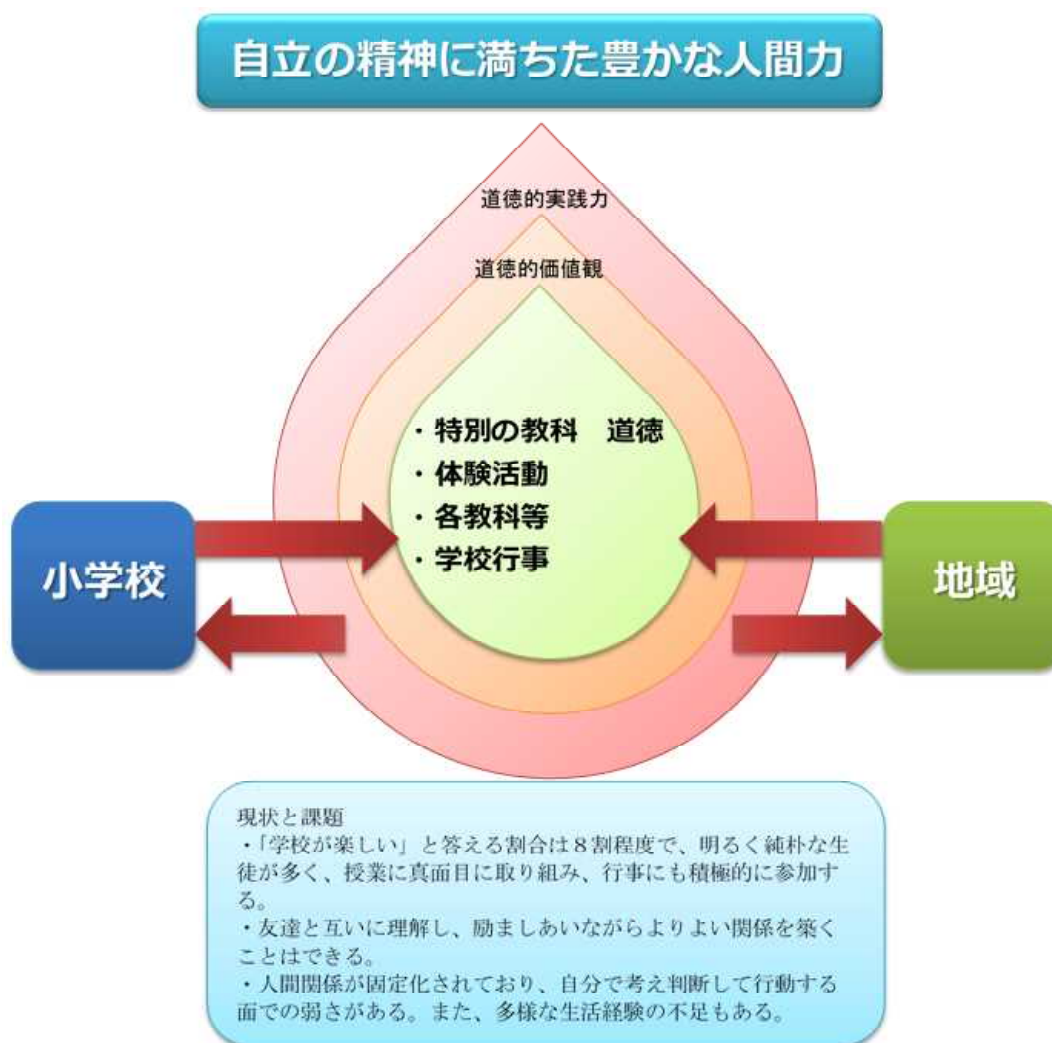
道徳の授業の最後に必ず自己の振り返りを取り入れ、その結果をもとに検証する。
道徳に関するアンケートの項目から数値的に検証する。

8 研究組織



各部会	研究内容
研究推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・研究の骨格・基本的事項を立案し、全体研究会に提案する。 ・各研究部の支援 ・講師招聘、授業研究。
全体研究会	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に関する内容を協議 ・各部会の報告を受け、改善に向けて協議する。
授業づくり部会	<ul style="list-style-type: none"> ・指導案様式の検討 ・指導案検討 ・ワークシート、資料の検討
体験活動部会	<ul style="list-style-type: none"> ・体験活動と内容項目の一致 ・道徳の授業と体験活動の連携
地域連携部会	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態把握（QU分析） ・道徳アンケートの作成・実施 ・小中連携、地域連携のためのお便りや掲示物の工夫

9 研究の構想図



10 年間計画

第1回	4月5日	今年度の校内研究について提案
第2回	5月12日	部会、学年部会 研究授業者の分担
第3回	5月31日	三部会・全体会
第4回	6月14日	三部会・全体会
第5回	6月20日	第1回 校内研究授業 事務所訪問
第6回	7月5日	三部会・全体会
第7回	8月1日	三部会・全体会
第8回	8月25日	講師招聘「道徳に関する研修」QUの分析・道徳アンケートの分析
第9回	9月27日	2学期取り組み確認 三部会・全体会
第10回	10月4日	第2回 校内研究授業
第11回	10月31日	三部会・全体会
第12回	11月11日	中間報告 三部会 指導案検討
第13回	11月20日	三部会
第14回	12月20日	中間報告会にむけて
第15回	1月17日	中間報告会 準備
第16回	1月19日	1年次の中間報告会 ※ 研究授業2本ほど 講師招聘 京都産業大学教授 柴原弘志先生
第17回	1月31日	今年度取り組みの振り返り
第18回	2月	次年度へ向けて（各部会や研究授業の資料整理）
第19回	3月	次年度へ向けて

※ 本年度の授業研は、各学年1回程度、全員で参観する。
必要に応じてT2で入り、資料を読んだり、板書をしったりする。